

大学生の就職志望企業

(『就職ブランド調査2007』より)

株式会社リクルート

株式会社リクルート(本社:東京都中央区、代表取締役社長兼CEO:柏木齊)では、大学生の会社選びの動向を明らかにするため、『就職ブランド調査』を実施しております。このたび、2008年3月卒業予定の大学生を対象にした「大学生の就職志望企業」の集計がまとまりましたので、ご報告いたします。

みずほフィナンシャルグループ、銀行人気で第1位に

銀行人気を受け、みずほフィナンシャルグループが第1位となった。銀行はメガバンクを中心に、おおむね順位を上げている。

例)三菱東京UFJ銀行6位⇒3位、三井住友銀行13位⇒12位、三菱UFJ信託銀行94位⇒34位、りそなホールディングス95位⇒65位、日本銀行107位⇒90位

銀行はバブル崩壊時に採用人数を絞った影響で、特に20代後半～30代の人材不足が深刻。不良債権問題に代表される金融不安の時代が終わり、新たな金融ビジネスを展開するなど攻めの姿勢に転じるなか、将来的な活躍を見込んだ人材の確保に積極的。昨年に引き続いて大規模な新卒採用を実施している。

そのような背景のもと、採用数増加により「門戸が広がった」と感じた学生からの支持を集めたもよう。

業績好調を受け、電機・電子メーカーが上位にランクイン

業績の好調が目立つ一部電機・電子メーカーへの人気が高まっている。新卒の採用人数を大幅に増やすなど採用活動に力を入れていることや、新商品の発売や新技術の投入などで、メディアでの注目度が上がっていることなども要因と考えられる。

例)日立製作所5位、松下電器産業10位、キヤノン18位、シャープ30位

企業選択では「待遇のよさ」や「雇用の安定」が重視される傾向に

就職活動における企業選択の視点(23項目)については、過去5年間で学生の重視する項目に変化がみられた。

「自分がやりたい仕事ができる」という項目は例年と変わらず1位であるものの、年を追うごとに重視する度合いが弱まりつつある。その一方で、「給与・福利厚生など待遇がよい」「雇用が安定している」という2つの項目を重視する度合いは、年々強まる傾向にある。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

調査概要

- 調査目的** 2008年3月卒業予定の大学生が就職先として希望する企業、および就職観を把握し、関係各位の参考にする
- 調査対象** ※リクナビ登録者で2008年3月大学卒業予定者（調査時3年生）
48万5074人（調査時点）
- 有効回答数** 1万4873人
- 調査期間** 2007年2月14日～2月27日
- 調査方法** 対象者に電子メール、およびリクナビ上で調査を告知し、弊社調査用ホームページ上で回答
- 調査内容**
- ・就業意識
 - ・企業選択の視点
 - ・就職志望企業（第1志望から第5志望まで、企業名を自由想起して回答）
 - ・第1志望企業に対する評価
- ※企業選択の視点、志望企業の評価は各選択肢を5段階評価

有効回答数の調整

集計結果の安定性を得るために、有効回答数の男女構成比を調整している。大学3年次の学生を母集団とし、学生数を「平成18年度学校基本調査」から求め、母集団の男女構成比を同調査から算出した。有効回答数の男女構成比が母集団の男女構成比の±5%以内に収まるように、男女いずれかから過剰な回答数を無作為に抽出し、除外した。
(以下、調整された有効回答数を集計対象サンプルとする)

●集計対象サンプルの内訳

全体		大学生
		14,061人
男女内訳	男子	7,566人
	女子	6,495人

※調査名称変更について

本年度より「就職ブランド調査」と名称を変更した。
(旧名称は「採用ブランド調査」)

※就職志望企業名入力時の支援機能の一部追加について

グループバランスの多様化（持株会社制への移行等）により、企業の採用・雇用実態と学生の認知に相違が生じてきていることを受け、調査時の企業名入力において以下のような支援機能を追加した。

（今回追加した支援機能）

学生が持株会社制を導入している企業名を入力した際、投票確認画面の表示社名に事前にその企業が指定した社名を提示する

（入力支援機能を追加する条件）

持株会社制を導入しており、雇用または採用・選考活動の実態が実質1社に集約されていること

なお、該当企業の昨年順位については“-（ハイフン）”で表記している。

※リクナビについて

株式会社リクルートが開設している、学生の就職活動を支援するためのサイト。
現在の登録者は2008年3月卒業予定の学生。
(<http://2008.rikunabi.com/>)

大学生の就職志望企業順位表

■大学生の就職志望企業順位（1位～20位）

順位	昨年 順位	企業名	票数	順位 変動
1	-	みずほフィナンシャルグループ	395	-
2	1	全日本空輸	379	-1
3	6	三菱東京UFJ銀行	370	3
4	2	トヨタ自動車	362	-2
5	4	日立製作所	351	-1
6	5	電通	300	-1
7	10	東海旅客鉄道	275	3
8	2	ジェイティービー	271	-6
9	7	博報堂	268	-2
10	27	松下電器産業	264	17

順位	昨年 順位	企業名	票数	順位 変動
11	14	資生堂	241	3
12	13	三井住友銀行	238	1
13	7	サントリー	235	-6
14	-	日本航空インターナショナル	231	-
15	20	アサツーディ・ケイ	229	5
16	39	野村證券	228	23
17	12	ベネッセコーポレーション	218	-5
18	41	キャノン	212	23
19	29	東京海上日動火災保険	204	10
20	31	オリエンタルランド	199	11
20	9	積水ハウス	199	-11
20	16	バンダイ	199	-4

（23位～100位）

順位	昨年 順位	企業名	票数	順位 変動
23	19	講談社	191	-4
24	23	三菱商事	189	-1
25	20	三井物産	188	-5
26	45	伊藤忠商事	185	19
27	34	住友商事	183	7
28	22	東日本旅客鉄道	180	-6
29	25	本田技研工業	177	-4
30	81	シャープ	174	51
31	34	大日本印刷	170	3
32	15	損害保険ジャパン	169	-17
33	17	カゴメ	167	-16
34	94	三菱UFJ信託銀行	165	60
35	29	ソニー	157	-6
36	11	フジテレビジョン	150	-25
37	17	日産自動車	145	-20
38	70	リンクアンドモチベーション	144	32
39	60	日本放送協会	135	21
40	57	東日本電信電話	133	17
41	33	凸版印刷	132	-8
42	64	富士フイルム	130	22
43	24	集英社	129	-19
44	54	日本電気	125	10
45	64	大和証券	123	19
46	37	大和ハウス工業	122	-9
47	59	朝日新聞社	121	12
48	44	アイシン精機	120	-4
49	51	武田薬品工業	117	2
50	36	ロッテ	111	-14
51	68	明治製菓	110	17
52	28	高見	109	-24
53	46	デンソー	108	-7
53	130	丸紅	108	77
55	72	西日本旅客鉄道	107	17
56	50	エイチ・アイ・エス	105	-6
56	51	日本旅行	105	-5
58	42	富士通	104	-16
58	57	森永製菓	104	-1
60	67	近畿日本ツーリスト	102	7

順位	昨年 順位	企業名	票数	順位 変動
61	88	中部電力	101	27
62	88	任天堂	100	26
63	51	ニトリ	99	-12
63	77	三井不動産	99	14
65	56	西日本電信電話	98	-9
65	95	りそなホールディングス	98	30
67	742	スクウェア・エニックス	96	675
68	48	日清食品	94	-20
69	26	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	92	-43
69	113	花王	92	44
69	83	麒麟ビール	92	14
72	145	三菱重工業	91	73
73	319	ブリヂストン	90	246
74	100	東京電力	89	26
75	47	三井住友海上火災保険	85	-28
76	153	日本アイ・ビー・エム	83	77
76	-	バンダイナムコゲームス	83	-
78	55	ブラン・ドゥ・シー	82	-23
78	78	ミキハウス	82	0
80	106	高島屋	81	26
80	74	松下電工	81	-6
80	275	ユニクロ	81	195
83	215	東レ	80	132
84	72	旭化成ホームズ	79	-12
84	75	エヌ・ティ・ティ・データ	79	-9
84	124	野村総合研究所	79	40
87	32	九州旅客鉄道	77	-55
88	124	住友林業	76	36
88	95	日本生命保険	76	7
90	104	東急エージェンシー	75	14
90	107	日本銀行	75	17
90	180	日本たばこ産業	75	90
93	75	味の素	73	-18
93	134	コーセー	73	41
93	294	豊田通商	73	201
93	99	ヤマハ	73	6
93	95	レオパレス21	73	2
98	110	江崎グリコ	71	12
98	119	国際協力機構	71	21
98	80	豊田自動織機	71	-18
98	-	郵便局	71	-

*昨年順位の欄の「-」について

- ・ 昨年から今年にかけ新たに登場した企業
- ・ 合併等で昨年データが算出できない企業
- ・ 就職志望企業名入力時に支援機能を追加した企業
(調査概要参照)

大学生の企業選択の視点について

●就職活動における学生の企業選択の視点については、「自分がやりたい仕事ができる（4.45点）」「職場に活気がある（4.43点）」の2項目が、例年通り1位・2位に並んだ。それに続いて、「給与・福利厚生など待遇がよい（4.23点）」という項目が3位にランクイン。昨年（4.12点）からは0.11点の増加と、全23項目中で最も大きく増加している。また「雇用が安定している（4.18点）」という項目も同じく0.11点増加し、5位となった。

●さらに、上位5位の項目について2002年からの5年間の変化をみると、「自分がやりたい仕事ができる」「仕事の成果や業績が正当に評価される」の2項目が年々減少傾向にある一方で、「給与・福利厚生など待遇がよい」「雇用が安定している」の2項目は大きく増加していることが分かる。（下記、2007年上位5項目の経年比較グラフ参照）

就職活動において学生は、待遇のよさや雇用の安定といった点を重視して、企業を選ぶようになってきているようである。

■企業を選ぶ際に重視する点…経年比較表(2002年～2007年)

2007年 順位	企業選択の視点(23項目)	2002年 n=16964	2003年 n=18526	2004年 n=17176	2005年 n=17173	2006年 n=17256	2007年 n=14061	昨年差
1	自分がやりたい仕事ができる	4.59	4.59	4.54	4.53	4.48	4.45	-0.03
2	職場に活気がある	4.43	4.44	4.43	4.44	4.43	4.43	0.00
3	給与・福利厚生など待遇がよい	3.94	3.93	3.97	4.03	4.12	4.23	0.11
4	仕事の成果や業績が正当に評価される	4.31	4.28	4.29	4.25	4.22	4.22	0.00
5	雇用が安定している	3.95	3.95	3.97	4.03	4.07	4.18	0.11
6	仕事や研修を通じて専門的知識や技術が身につく	4.20	4.18	4.14	4.22	4.18	4.16	-0.02
7	社会や地域に貢献している	4.00	4.03	4.04	4.07	4.12	4.13	0.01
8	勤務地が便利(よい)／通勤が便利	3.88	4.01	4.03	4.07	4.09	4.10	0.01
9	企業戦略やビジョンがすぐれている	4.17	4.13	4.13	4.08	4.04	4.05	0.01
10	経営者が魅力的である	4.00	4.00	4.05	4.07	4.04	4.04	0.00
11	職場が美しく快適である	3.85	3.84	3.93	3.95	3.97	4.03	0.06
12	順調に業績を伸ばしている	4.01	3.99	3.98	4.02	3.98	4.01	0.03
13	仕事を通して幅広い人脈形成ができる	4.00	3.98	4.01	4.00	3.99	3.97	-0.02
14	世の中に影響を与える仕事ができる	3.93	3.95	3.91	3.90	3.90	3.95	0.05
15	優秀な人材が多い	3.92	3.86	3.88	3.89	3.88	3.89	0.01
16	売上や利益が高い	3.81	3.80	3.79	3.84	3.79	3.83	0.04
17	責任のある仕事をまかせてもらえる	3.89	3.90	3.87	3.85	3.81	3.80	-0.01
18	企業そのものや商品がブランドとして広く認知されている	3.59	3.58	3.52	3.59	3.64	3.69	0.05
19	たくさんの優良顧客を持つ	3.60	3.55	3.61	3.60	3.59	3.60	0.01
20	自分の経験・専門が生かせる	3.69	3.64	3.63	3.63	3.57	3.53	-0.04
21	工場等の設備や研究所等の施設が充実している	3.49	3.38	3.42	3.37	3.32	3.39	0.07
22	技術や特許など、多くの知的資産を持っている	3.51	3.42	3.39	3.36	3.33	3.37	0.04
23	家族・友人などに自慢できる	3.19	2.97	3.01	3.10	3.11	3.15	0.04

※【企業を選ぶ際に重視する点】

「とても重視する」5点、「重視する」4点、「どちらともいえない」3点、「あまり重視しない」2点、「重視しない」1点と置いたときの平均値

■企業を選ぶ際に重視する点…2007年上位5項目の経年比較グラフ

